

No.54

## NEWS LETTER

The Friendship Force of Aichi  
2002年12月発行

## 波乱の世界大会 11 月 7 日～10 日

## ロザリン・カーター名誉会長およびチップ・カーター会長の退任

FF 愛知会長：加藤八郎

第 26 回 FF 世界大会が、11 月 7 日より 10 日まで、世界各地から 400 名を超えるメンバーが集まり、米国テキサス州ダラスで開かれました。愛知からは岩月、大木、加藤、桜木、竹中の 5 名が参加しました。冒頭の理事会よりロザリン・カーター名誉会長と理事会の間で新しい理事の選出をめぐる確執が生じ、理事会が名誉会長の推薦する 2 名の理事候補を受け入れるかどうか問題になっておりました。理事会が、投票の結果、名誉会長の要求する 2 名の理事の入れ替えを否決したため、その時点で名誉会長ならびにチップ・カーター会長の辞任の発表がありました。コンスタンス・スワンク エグゼクティブ・ディレクターおよび現在のスタッフはそのまま残ることになりました。トニー・コーツ理事会議長が名誉会長および会長の退任に至った理由ならびに財政状況について詳しい報告をしております。(詳細は事務局にお問い合わせください) 大会は 7 日のウエルカム・レセプションに始まり、本会議にはそれぞれ専門家の講演が準備され、FFI の政策討論会、ウォーキング・ワークショップ、ガラ・バンケットと 10 日の閉会式で終わりました。

会議および講演を理解するには、日ごろ英語に接しており、なおかつ相当な英語力

を必要とすることを改めて認識させられました。

メンバーシップフィーの改定が理事会で認められ、個人会員は 3 ドルから 10 ドルに、家族会員は 5 ドルから 15 ドルに引き上げられました。マガジンの購読料は 15 ドル。アドミニストレイティブ・フィー(管理費)は日本の場合は 1 週目が 175 ドル、2 週目は 50 ドルとなりました。

古い友人と再会し、新しい友人に出会う機会として、大会は全般的に盛会ではありましたが、突然の名誉会長、会長の辞任など、今後の FF の進む方向に不安を残した大会となりました。

## FF の新しい会長が決まる

FF 理事会は 12 月 10 日満場一致で新しい会長にスージー・スミスさんを指名し、2003 年 1 月 1 日より就任することを発表しました。スージー・スミスさんは FF の創始者ウエン・スミスさんの娘で 12 歳の時に父親が始めた FF と共に育ちました。以前 FF 副会長を務めたこともあり、理事会、FF のリーダーおよび関係者の協力を得て、FF を未来へ導き、2003 年以降の FF のプログラムを発展させるに適切な人物であると思われております。

## 新しい時代

## FF 活動支援日本委員会 石井嗣代



世界大会で、チップ会長と共にロザリンさんが名誉会長を降りるという発表があった時、会場には深い落胆の声が満ち溢れました。そのまま、席を立った人も何人かいたほどです。FF はどうになってしまうのだろう？とみんな思ったことでしょう。私もそうでした。こんな話は全く突然でしたから。でも、下を向いて考えているうちに、私がこの仕事についた 5 年近く前から、カーターファミリーに会ったのはこうした大会などのイベントの時だけだと気が付きました。私は、日本や海外のクラブの人々や FFI のスタッフたちとは毎日といっていいほど、メールや電話で接触があります。でも、カーターさんには、ああした大会の場以外ではまず会わないし、チップでさえ、アトラン

タのオフィスにも余り顔を見せていませんでした。カーター元大統領夫妻ももはや、70 代後半になられ、地元のカーターセンターの仕事をも減らしていきたいと、最近のアトランタの新聞のインタビューに答えて話しておられるのを見ました。私たちにはそろそろ独自の組織として、カーターさんが提唱者であるという事実は大切にしながらも、大事な交換の活動を自分たちで行っていく時が来たのかもしれない。FFI がしっかりと交換のプランの管理をしてさえくれれば、私たちは世界中に友人を作り、平和な世界を広げる目的に向かっていける、続けていけると思いませんか？このたび、理事会の全面的支持のもと、スージー・スミスさんが会長になられるという発表がありました。彼女は、このフレンドシップ・フォースをこよなく愛している人です。来年は何か、変わってくるかもしれません。でもそれが、FF の発展につながる良いものになるようお願い、そしてお手伝いをしていきたいと思っています。

### 英語のヒント

加藤八郎

#### About Our Region

Aichi, which is located about the center of Japan, has long been a crossroads between the cultures of eastern and western Japan. With the city of Nagoya ( population 2.1 million ) as its capital, the region is home of one of Japan's three largest metropolitan areas. It now serves as a driving force for the Japanese economy and leads Japan in terms of economy, culture, and every branch of industry. It is a highly advanced center for industrial technology. Toyota Motor and Noritake China are among world renowned manufacturers located in the area.

## FF 愛知ソウル交換と韓国のたび 2002 年 10 月 1 日～10 月 9 日



ソウルクラブのみなさんと国立民族博物館で

参加者：星野鋼市・道子  
宇佐美 茂・さわ子  
石崎昇、加藤八郎、富岡達也  
佐藤正幹、服部守、久保三郎  
加藤恵美子、沢野井シゲ子  
池田昌子、高橋月子  
西村貴美子、村田ひとみ  
榎本弘子、浅井操、岩月玲子  
鷹野晴子 以上 20 名

**ソウル交換****ED：星野鋼市**

10 月 1 日、我々 20 名は昼前定刻どおりに仁川空港に到着、ソウルクラブの皆さんに迎えられた。初対面の緊張感もなく、笑顔と笑顔の交流が始まった。ソウルクラブの皆さんは高級マンションに住み、優雅な暮らし振りでした。1 戸建住まいは少ないようです。ホストの皆さんは日本語がたいへん上手で、紳士的ですから話に花が咲き素晴らしい交流が出来たと思います。お酒も料理も美味しかった。腹いっぱいご馳走になりました。名所旧跡、ソウルの繁華街にも案内され、韓国の歴史や文化に触れたり、南大門で買い物したりして楽しい日々の連続でした。私が一番強烈な印象を受けたのは、都羅山展望台から軍事境界線とその先に見えた北の町です。目の前に広がる静かで一面灰色の世界はぞっとするほど恐ろしく感じました。韓国の明るくて活気ある街との違いは将に暗と明です。政治体制の恐怖を痛感した。

黄会長はじめソウルクラブの皆さんに大歓迎されて、たいへん楽しい交流が出来ました。

**ソウルの皆さん、本当に有難う。**

**楽しかったホームステイ 富岡達也**

今回は実に楽しい韓国訪問でした。私にとって韓国は、歴史的な親しみとわだかまりの入り混じった結構複雑な対象でした。最近の若い人達の屈託無さに多少の違和感を覚えてました。今回の訪問は、このようなちっぽけな感情など見事に吹っ飛ばしてくれました。皆さん、大東亜戦争時に辛苦をなめた世代なのに、それを笑い話にしてしまうほどの度量の大きさを持っていました。日本語も達者で、すっかり乗せられ愉快地話し合い大いに飲み食べました。今回、いくつかの世界文化遺産を見学、古い日本の爪痕も知りました。こういう事も認識しておかねばと思ったものです。ステイ先の崔さん宅では可愛い孫さんの歓迎と奥さんの暖かいもてなしに感激しました。崔さん宅は大団地にあり、2 世帯住宅ながら 81 坪と非常に大きい。振り返って我が都会生活のなんと貧弱なことよと概嘆し、日本の政治の貧困さに憤りを覚えたものです。

## “こもんじょ”に親しむ

大槻義壽

今、柄にもなく古文書の趣味にはまっている。昨春、運良く抽選で市の高年大学に入学、数あるクラブの中から古文書研究クラブを選択した。変体仮名、崩し字で構成されており、その読み下しは難解だが、昔の世相、文化を垣間見ることが出来、続けるほどに興味が増してきた。古文書は旧漢字の知識も必要だが我々は旧漢字の教育を受けた最後の世代である、従って同好者には七十代の人が多い。斜陽化の学問だが、老後じっくり取り組むには格好な趣味といえる。来年 3 月には卒業だが、その後も OB 勉強会が毎週あり、私の生涯学習の一環となりそう。先日クラブから親睦会をかね金沢へ行き、石川県美術館で利家とまつ(芳春院)の直筆状を写真に撮り、読み下し文をつけ学校の文化祭で展示した。祖先を知り、往時を偲び、苦労して古文書が解読できた時の喜びはひとしおのがあります。

### 2003 年スケジュール

|               |                    |
|---------------|--------------------|
| 2 月中旬         | TFF 愛知 総会          |
| 4 月初旬         | 受け入れ<br>アリゾナ アメリカ  |
| 4 月 19 日-20 日 | 日本大会(長崎)           |
| 4 月下旬         | 受け入れ<br>ペーチ ハンガリー  |
| 5 月 25 日-27 日 | アジア大会<br>ニュージーランド  |
| 8 月           | 渡航<br>イルクーツク ロシア   |
| 10 月初旬        | 受け入れ<br>ラアナナ イスラエル |
| 11 月中旬        | 中部ブロック会議(津)        |

## セントラル・アリゾナ受け入れ ホスト募集

ED: 服部 守

一昨年の秋、お世話になったセントラル・アリゾナの会員 20 数名が、来年 4 月初めに来名の予定です。今回はそのお返しに、一人でも多くの方のご協力を得て、お返しし、親睦をより確かなものにしたいと思います。詳細については後日のお知らせとなりますが、ホストの希望者は早めに ED までご連絡くださるようお願いします。

### 2003 年第 17 回 FF 日本大会開催

主 催: 長崎 FF

日 時: 4 月 19 日(土) ~ 20 日(日)

場 所: 長崎全日空ホテル

グラバーヒル

参加費: 10,000 円(大会費用)

宿泊代別

日 程: 19 日 13:00 受付

大会行事

20 日オプションツアー

\* 申し込み期限 1 月 31 日(金)

\* 詳しくは事務局大木捷代まで

### 新入会員の紹介

長谷川 誠 名古屋市北区在住  
歯医者さんをリタイアされた方で  
日米協会、日英協会の会員です  
加藤八郎さんの紹介

編集・発行

ザ・フレンドシップ・フォース・オブ・愛知

〒468-0045 名古屋市天白区野並 4-48

Tel: 052-895-4765 Fax: 052-895-5272